

平成 27 年 12 月 4 日

平成 27 年 第 2 回 “学生制作する音楽録音作品コンテスト” について

一般社団法人日本オーディオ協会では、我が国で音楽録音教育やオーディオ教育に関わる専門の教育機関が設立される以前より、音楽録音教育やオーディオ教育の重要性を認識し、その啓発に取り組んでいます。その一例を上げますと、1980 年代末までに、欧米の教育機関の活動状況などを現地で学んだ学生による紹介記事などを多数「JAS ジャーナル」（日本オーディオ協会の技術機関誌）に掲載し、啓発に努めてきました。また、日本オーディオ協会設立者の一人、音響工学の権威でもあった故伊藤毅先生からも「JAS ジャーナル」（1991 年 7 月号）誌上において“芸術的にも高水準で技術的にも高品質の録音音楽を制作するための要員養成の重要性”に関する指摘に基づき、録音技術者教育の充実にも努めてきました。このような努力もあり、我が国ではその後多くの教育機関が設立されました。

音楽録音の本質は今でも変わりませんが、最近になって録音技術に関する周辺状況に大きな変化が訪れています。一昔前にはかなり大がかりな設備を要した「録音」は、最近の小型高性能のデジタル録音機器の普及発展により、学生や若者たちにも比較的高音質の録音が容易に実施できる環境が整ってきています。

このような状況に鑑み、日本オーディオ協会は、オーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造するべく、学生の皆さんの柔軟な発想を生かした魅力ある「音楽録音作品」の登場を期待し「学生制作する音楽録音作品コンテスト」を、昨年に引き続き、開催いたしました。

コンテスト要綱

1. 主催：一般社団法人日本オーディオ協会
共催：Audio Engineering Society 日本学生支部
協賛：ソニー株式会社、ティアック株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン
協力：Audio Engineering Society 日本支部
2. コンテストの概要
応募要項に示す形で応募された作品について審査委員会にて厳格な審査を行い、2015 年度「音の日」に表彰
3. 応募資格：「音楽録音に興味を持つ学生の個人またはグループ」（高校以上の学生）
4. 応募期間等
・受付開始日：2015 年 9 月 25 日（金）
・応募締切日：2015 年 11 月 13 日（金）必着
5. 応募作品制作期間：2014 年 1 月 1 日以降制作のもの

6. 審査員構成

- ・ 審査委員長： 千葉 精一 日本オーディオ協会
- ・ 審査委員： 亀川 徹 東京芸術大学 音楽学部
- 長江 和哉 名古屋芸術大学 音楽学部
- 馬場哲夫 尚美学園大学 芸術情報学部
- 我妻 拓 日本工学院専門学校
- 深田 晃 dream window inc.
- 中村 寛 Audio Engineering Society 日本支部
- 高松 重治 日本オーディオ協会

応募総数 16 作品から審査員による厳正なる試聴および審査行い、以下の四名の作品が受賞されました。

第二回 受賞作品

■最優秀賞 蓮尾 美沙希 (ハスオ ミサキ) さん

- ・ 東京芸術大学 音楽学部 音楽環境創造科 学部 4 年
- ・ 作品「Deep Sea」5.1ch 48kHz/24bit
- ・ 作品の狙い：本作は、楽曲全編でチェロのみを使用した多重録音作品である。楽器本来の響きやアンサンブルを重視しながら、通常の演奏では聞こえづらい特殊奏法等を録音・ミキシングを通して聞こえるようにすることで、コンサートでは実現しづらい多彩な音色を持つ楽曲になるよう制作した。また 5.1ch サラウンドによって、深い海の底、音の渦に囲まれているような重厚感の演出を試みている。

■企画制作賞 高柳 欽也 (タカヤナギ キンヤ) さん

- ・ 洗足学園音楽大学 音楽・音響デザインコース 録音専攻 4 年
- ・ 作品「煌めきと明日」5.1ch 96kHz/24bit
- ・ 作品の狙い：聴いている人がまるで自分の周りで実際に演奏されているかのような臨場感のある作品を目指しました。同時演奏、1 発録り、演奏での音楽的バランスなど色々なことに挑戦し、出音で音楽的な作品をなるべくそのまま音源にしようと努力しました。

■録音技術賞 廣木 翼 (ヒロキ ツバサ) さん

- ・ 尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科 4 年 音響フィールド
- ・ 作品「大逆転の虹」2ch 44.1kHz/16bit
- ・ 作品の狙い：「rabbit youth riot (ラビット ユース ライオット)」が個人の技術向上や楽曲作りに集中していた修行期間を終え、新たなサウンドの曲として作られたため、曲の伝えたいこと、音色や雰囲気に加え、彼らの今までの音楽との違いを出せることをテーマに企画しました。特にドラムの音色がこれまでと大きく変

わったため、鳴っている音を素直にかつクリアに聞かせられるよう工夫しました。

■音楽作品賞 世利 輝（セリ ヒカル）さん

- ・日本工学院専門学校 レコーディングクリエイター科 1年
- ・作品「スクランブル」2ch 44.1kHz/16bit
- ・作品の狙い：まだ一年生なので、ピアノとボーカルのみというシンプルな構成でアコースティックピアノの音の豊かさとボーカルの暖かみを最大限に引き出すことを目的としました。

以上